

血

液

内

科

だ

よ

い

## 輸血用血液製剤について

## 赤血球製剤 ; Red Blood Cells



## 照射赤血球-LR「日赤 (Ir-RBC-LR)

Ir (irradiated) : 輸血による移植片対宿主病 (GVHD) を予防する目的で 15Gy 以上 50Gy 以下の放射線が照射されています。

LR (Leukocytes Reduced) : 保存に伴う凝集塊の発生、発熱反応や同種免疫反応等の輸血関連副作用の予防や低減のため、保存前白血球除去が実施されています

## 血小板製剤 ; Platelet Concentrate



使用まで 20~24℃で振とう保存します。理由として振とう保存により、乳酸と重炭酸との平衡反応により生じた二酸化炭素がバッグ外に放出し、適切な pH を保つことができます。

## 血漿製剤 ; Platelet Concentrate



使用まで -30℃に冷凍保存します。使用時は融解装置を用い 30-37℃の湯温にて融解します。主な効能は、複合性凝固障害で、出血、出血傾向に対しての血液凝固因子の補充です

## 輸血に際しての説明と同意について

「輸血療法の実施に関する指針」では、輸血に際して患者や家族に必要な事項を説明し、同意を得ることされています。説明が必要な項目には、「医薬品副作用救済制度・生物由来製品感染等被害救済制度と給付の条件」が含まれています。

## 生物由来製品感染等被害救済制度とは

生物由来製品を適正に使用したにもかかわらず、その製品を介して感染などが発生した場合に、入院治療が必要な程度の疾病や日常生活が著しく制限される程度の障害などの健康被害について救済給付を行う制度です。